

# IDとパスワードに関する意識調査 分析レポート

2010年2月

---

株式会社野村総合研究所  
基盤ソリューション事業本部

# 調査概要

調査目的	インターネットで使用するIDとパスワードに関する意識について、現状の課題を洗い出し、動向を探る
調査実施期間	2009年3月13日～17日
調査方法	NRIのインターネットリサーチサービス「TrueNavi」によるアンケート調査
調査対象者	「TrueNavi」の調査モニターで、全国16歳以上69歳以下の男女
回収サンプル数	1,000件
備考	調査結果の数値は、平成17年国勢調査の人口比率と性別・年齢分布が一致するようにサンプルを調整して算出したものです。

# 著作権について／お問い合わせ先

- ◆ 本レポートの著作権は、株式会社野村総合研究所が保有します。
- ◆ 内容の一部を転載・引用される場合は、出所として弊社名および調査名称「インターネットで使用するIDとパスワードに関する意識調査」を併記してください。  
尚、転載・引用の際には、下記の連絡先までご一報ください。
- ◆ データの一部または全部を改変すること、本レポートを販売・出版すること、出所を明記せずに転載・引用を行うことは禁止いたします。

## 【このレポートに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所

基盤ソリューション事業本部

Tel:03-6274-1460

Email: granarch\_info@nri.co.jp

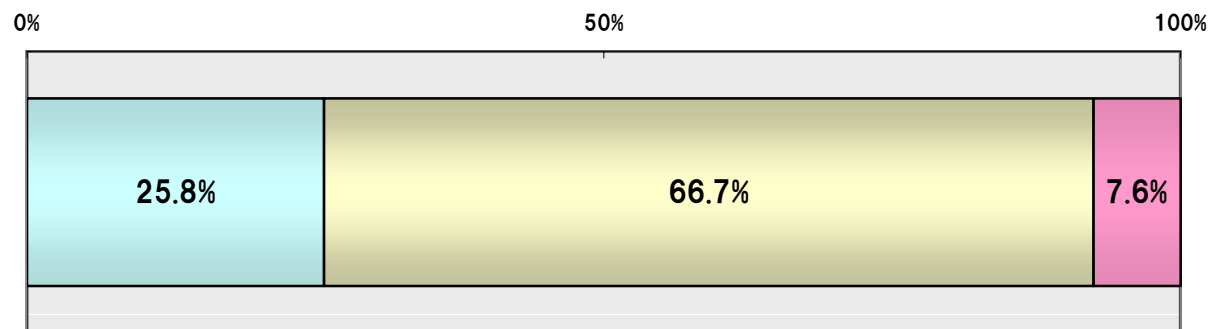
**調査結果 詳細**

# ID・パスワードの設定方法

「いくつかのID・パスワードの中から選んで設定する」とした回答者が66.7%。  
「ひとつに統一する」という回答(25.8%)と合わせると、  
9割以上の回答者がID・パスワードを複数のサイトで併用しています。

Q. IDやパスワードを自分で決めることができる場合、どのように設定している？【単一回答】

- ひとつのID/パスワードで統一する
- いくつかのID/パスワードの中から選んで設定する
- 全て違うID/パスワードを設定する

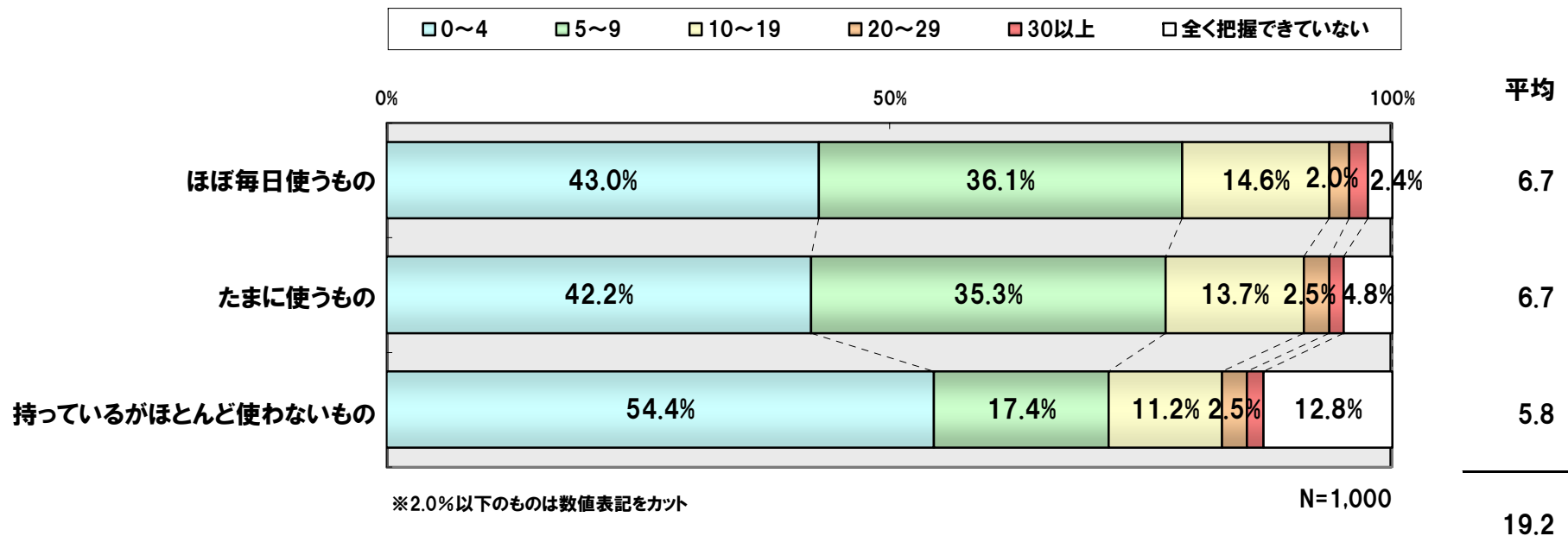


N=1,000

# 自分のIDでログインするサイト数

「ほぼ毎日使うサイト」「たまに使うサイト」を合わせると、平均13.4となります。  
 「IDは持っているがほとんど使わないサイト」を加えると、平均19.2となります。

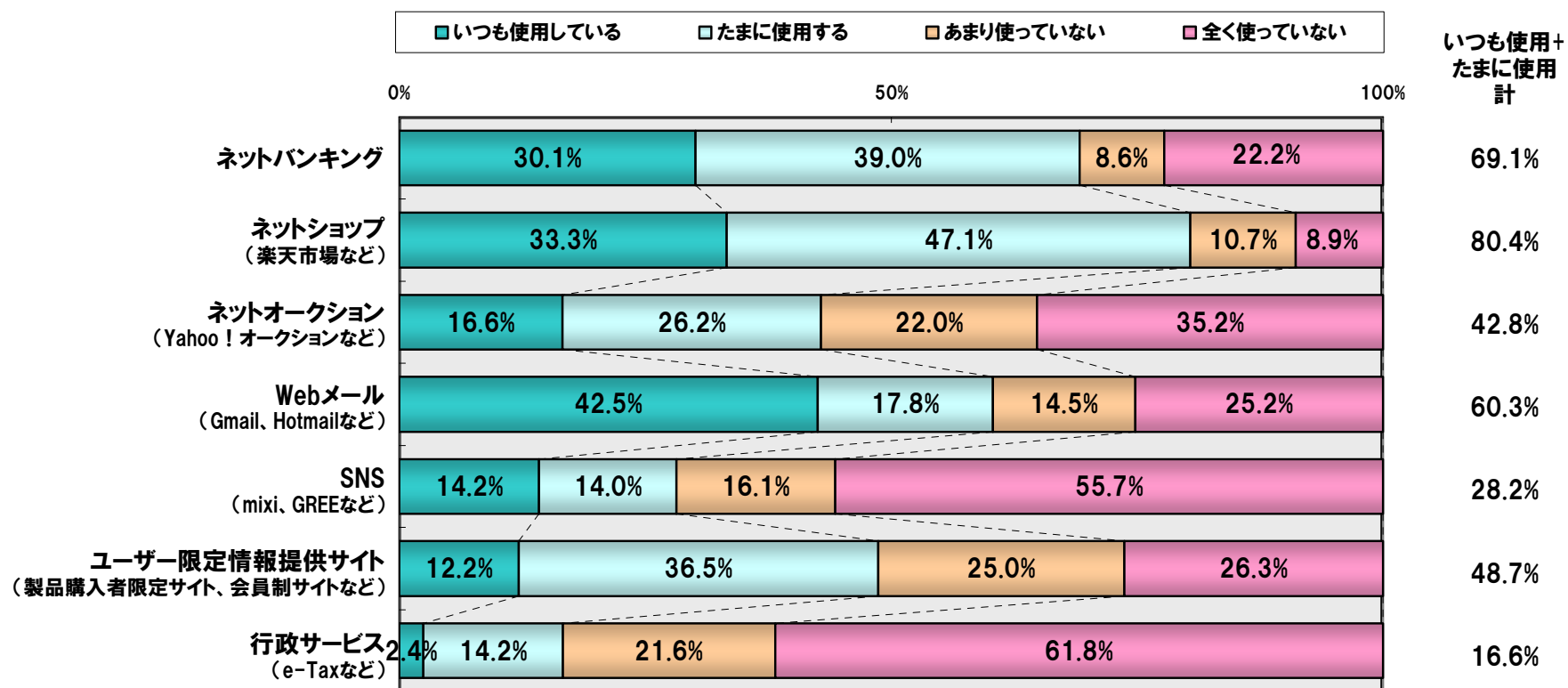
Q. 自分のIDでログインして利用するサイトの数は？【各単一回答】



# ID入力が必要なサイトの種類別・利用頻度

Webメール、ネットショップ、ネットバンキングが「いつも使用」+「たまに使用」合計で過半数となり、使用頻度の高いサイトとなっています。

Q. 自分のIDでログインする必要があるサイトの使用状況は？【各単一回答】

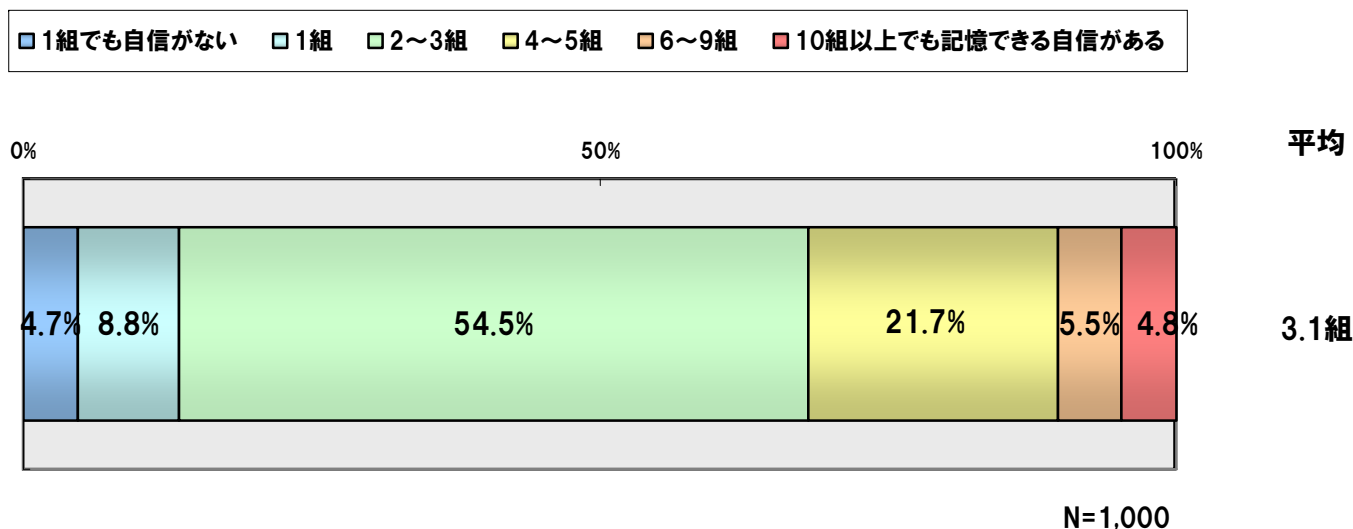


N=1,000

# ID・パスワードの記憶可能数

インターネットユーザーが確実に記憶できるID・パスワード数の平均は3.1組となり、**ログインサイト数**(「ほぼ毎日使うサイト」+「たまに使うサイト」平均13.4/「IDは持っているがほとんど使わないサイト」を加えると平均19.2)とのギャップが見られます。

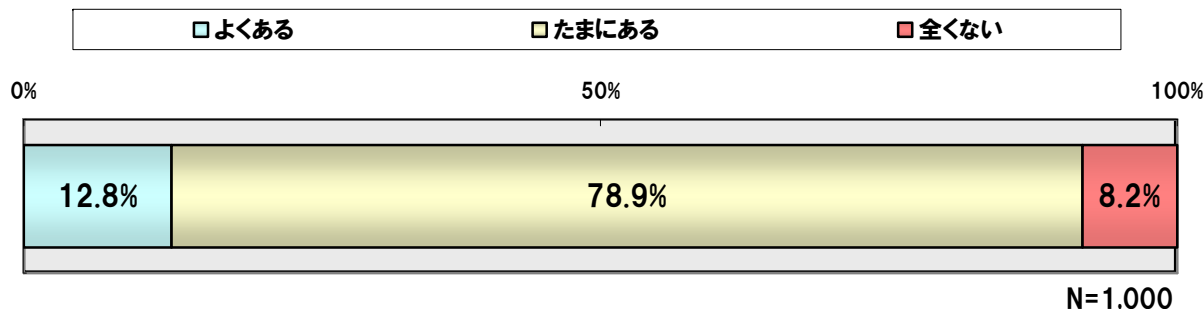
Q. IDやパスワードを管理する際、何組までなら確実に記憶することができる？【単一回答】



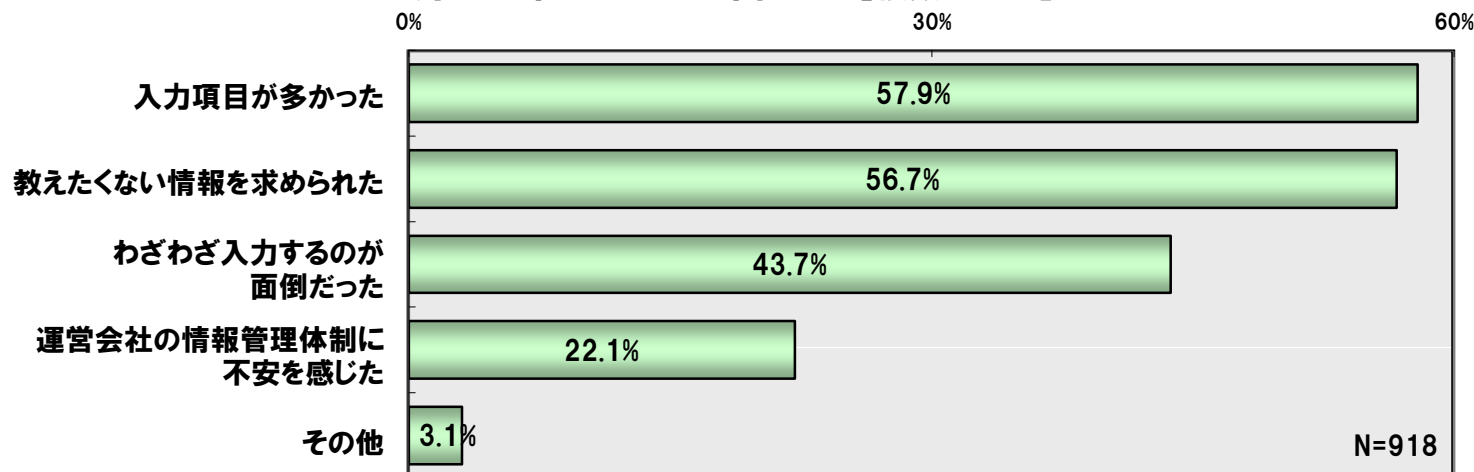
# サイトでのユーザー登録を途中でやめた経験有無／理由

9割以上が登録を途中でやめた経験があります。  
理由を見ると、登録が負担となっている、  
あるいは登録しなければならない内容に抵抗がある状況がうかがえます。

Q. Webサービスのユーザー登録を途中でやめた経験がある？【単一回答】



Q. Webサービスのユーザー登録を途中でやめた理由は？【複数回答可】

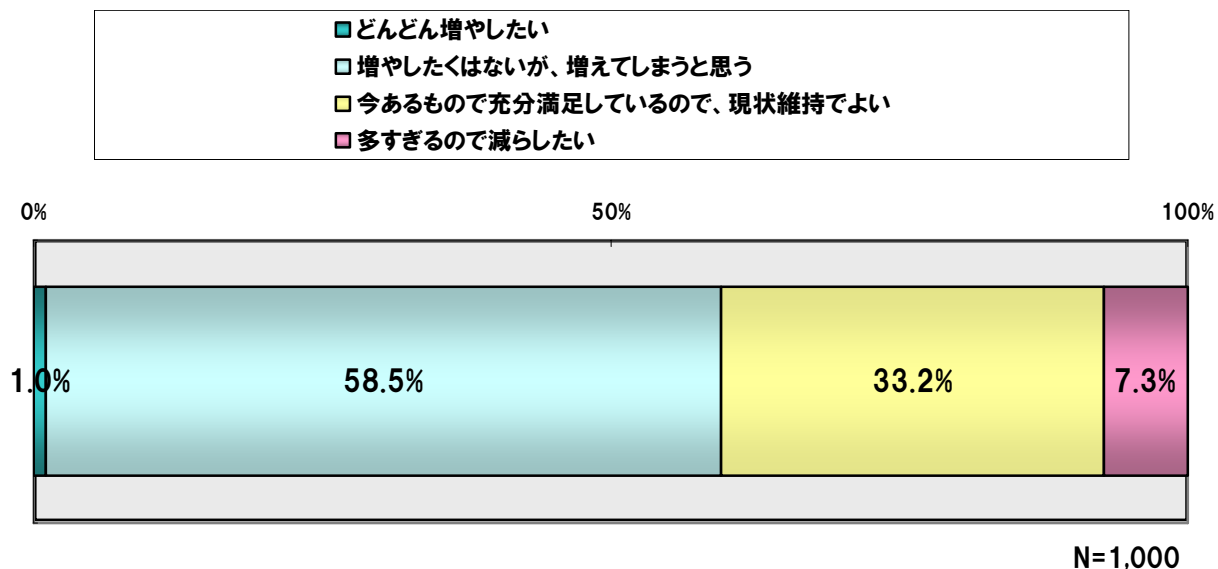


※上記設問「Webサービスのユーザー登録を途中でやめた経験」について、「よくある」「たまにある」回答者ベース

## 今後のID所有に対する考え方

「増やしたくないが増えてしまうと思う」が58.5%となっており、インターネット上でサービスを提供するにはID・パスワードの登録の負担を減らす工夫が必要になっていくと考えられます。

Q. 今後のID所有について、どのように考えている？【単一回答】



**NRI**

未来創発

**Dream up the future.**